

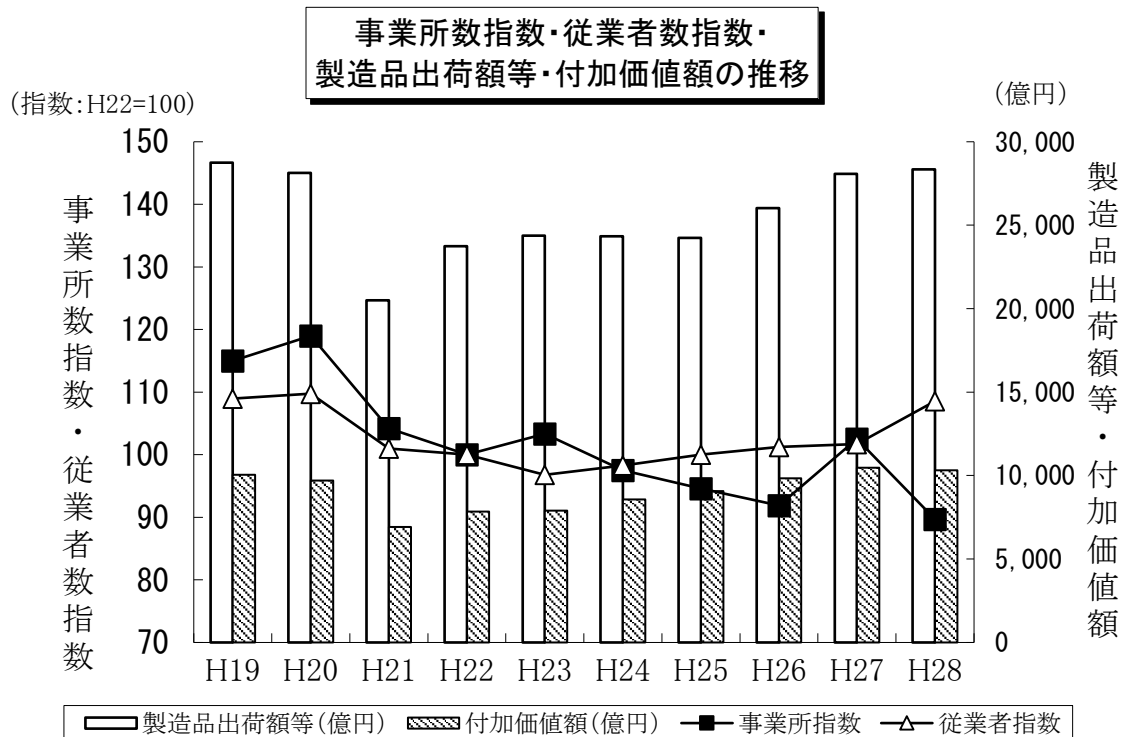
1. 概況 (従業者4人以上の事業所)

平成29年6月1日現在

事業所数 2,861 事業所 (前年比 ▲12.5% 2回ぶりの減少)
 従業者数 101,950 人 (前年比 + 6.8% 5回連続の増加)

平成28年

製造品出荷額等 2兆8,349 億円 (前年比 + 1.0% 3年連続の増加)
 付加価値額 1兆 306 億円 (前年比 ▲1.5% 7年ぶりの減少)



注1:平成23年、平成27年は経済センサス-活動調査において実施した。

注2:事業所指数及び従業者指数は、平成23年は平成24年2月1日現在、平成27年は平成28年6月1日現在、平成28年は平成29年6月1日現在、その他の年次は同じ年の12月31日現在である。

注3:工業統計調査と経済センサス-活動調査は母集団となる名簿情報がそれぞれ異なることから、比較に際しては留意されたい。

2. 事業所数

事業所数は2回ぶりに減少

平成29年6月1日現在の事業所数は2,861事業所で、前年に比べ409事業所（前年比▲12.5%）の減となり、2回ぶりに減少となった。

産業部門別構成比をみると、「機械」（構成比40.7%）、「繊維」（同16.7%）、「食料品」（同15.1%）と、この3産業で72.5%を占めている。

なお、これら3産業について前年比をみると、「機械」が▲10.8%、「繊維」が▲20.3%、「食料品」が▲5.5%の減少となった。

3. 従業者数

従業者数は5回連続の増加

平成29年6月1日現在の従業者数は101,950人で、前年に比べ6,460人（前年比+6.8%）の増となり、5回連続の増加となった。

産業部門別構成比をみると、「機械」（構成比57.5%）、「食料品」（同13.0%）、「繊維」（同10.4%）と、この3産業で80.9%を占めている。

なお、これら3産業について前年比をみると、「機械」が7.2%、「食料品」が14.3%の増加、「繊維」が▲2.8%の減少となった。

表1 産業部門別事業所数・従業者数

産業部門	事業所数				従業者数（人）			
	平成28年	平成29年	構成比（%）	前年比（%）	平成28年	平成29年	構成比（%）	前年比（%）
合計	3,270	2,861	100.0	▲12.5	95,490	101,950	100.0	6.8
繊維	601	479	16.7	▲20.3	10,944	10,635	10.4	▲2.8
機械	1,305	1,164	40.7	▲10.8	54,707	58,653	57.5	7.2
食料品	456	431	15.1	▲5.5	11,616	13,276	13.0	14.3
窯業・土石	185	156	5.5	▲15.7	3,016	2,948	2.9	▲2.3
木材・木製品	69	67	2.3	▲2.9	969	1,026	1.0	5.9
その他	654	564	19.7	▲13.8	14,238	15,412	15.1	8.2

〔参考〕

表2 全国及び北陸3県の事業所数・従業者数

全国及び北陸3県	事業所数				従業者数（人）			
	平成28年	平成29年	構成比（%）	前年比（%）	平成28年	平成29年	構成比（%）	前年比（%）
全 国	217,601	191,339	100.0	▲12.1	7,497,792	7,571,369	100.0	1.0
石 川	3,270	2,861	1.5	▲12.5	95,490	101,950	1.3	6.8
富 山	3,001	2,717	1.4	▲9.5	121,049	124,328	1.6	2.7
福 井	2,570	2,161	1.1	▲15.9	72,469	72,942	1.0	0.7

注1:平成28年の数値は経済センサス-活動調査の結果に基づく数値である。

注2:事業所数及び従業者数については、表示年次の6月1日現在である。

4. 製造品出荷額等

製造品出荷額等は3年連続の増加

平成28年中の製造品出荷額等は2兆8,349億円で、前年に比べ277億円（前年比+1.0%）の増となり、3年連続の増加となった。

産業部門別構成比をみると、「機械」（構成比66.8%）、「食料品」（同7.3%）、「繊維」（同7.0%）と、この3産業で81.1%を占めている。

なお、これらの産業について前年比をみると、「食料品」が2.2%の増加、「繊維」が▲4.7%の減少となった。

5. 付加価値額

付加価値額は7年ぶりの減少

平成28年中の付加価値額は1兆306億円で、前年に比べ159億円（前年比▲1.5%）の減となり、7年ぶりの減少となった。

産業部門別構成比をみると、「機械」（構成比58.5%）、「食料品」（同7.8%）、「繊維」（同7.6%）と、この3産業で73.9%を占めている。

なお、これらの産業について前年比をみると、「食料品」が7.6%の増加、「繊維」が▲5.5%の減少となった。

表3 産業部門別製造品出荷額等・付加価値額

産業部門	製造品出荷額等（億円）				付加価値額（億円）			
	平成27年	平成28年	構成比（%）	前年比（%）	平成27年	平成28年	構成比（%）	前年比（%）
合計	28,072	28,349	100.0	1.0	10,465	10,306	100.0	▲1.5
繊維	2,070	1,972	7.0	▲4.7	824	779	7.6	▲5.5
機械	X	18,938	66.8	X	X	6,032	58.5	X
食料品	2,012	2,057	7.3	2.2	748	805	7.8	7.6
窯業・土石	687	748	2.6	8.9	372	424	4.1	14.0
木材・木製品	277	258	0.9	▲6.9	107	80	0.8	▲25.2
その他	X	4,375	15.4	X	X	2,187	21.2	X

〔参考〕 表4 全国及び北陸3県の製造品出荷額等・付加価値額

全国及び北陸3県	製造品出荷額等（億円）				付加価値額（億円）			
	平成27年	平成28年	構成比（%）	前年比（%）	平成27年	平成28年	構成比（%）	前年比（%）
全国	3,131,286	3,020,356	100.0	▲3.5	980,280	972,324	100.0	▲0.8
石川	28,072	28,349	0.9	1.0	10,465	10,306	1.1	▲1.5
富山	38,116	36,770	1.2	▲3.5	13,644	12,939	1.3	▲5.2
福井	20,393	20,437	0.7	0.2	8,101	7,348	0.8	▲9.3

注1:付加価値額で、従業者4～29人の事業所については粗付加価値額である。

注2:平成27年の数値は経済センサス-活動調査の結果に基づく数値である。

注3:「X」は、そのまま掲げると個々の報告者の秘密が漏れるおそれがあるため秘匿した箇所である。

